

建築物環境衛生管理技術者試験 市ヶ谷出版社刊行 2019年度版 訂正一覧

以下の訂正がありましたので、お知らせいたします。お詫びをして、訂正いたします。

● ビル管理士 要点テキスト I

頁	行	誤	正
17	8	② 免状の交付を受けている者が、建築物衛生法に違反したときは、その免状の命じられることがある。	② 免状の交付を受けている者が、建築物衛生法に違反したときは、その免状の 返納を 命じられることがある。
22	25	⑤ 建築物飲料水 槽貯水 清掃業に係る基準(規則第28条)	⑤ 建築物飲料水 貯水槽 清掃業に係る基準(規則第28条)
39	10	⑥ 炭疽そ	⑥ 炭疽
39	13	⑩ 野兎と病	⑩ 野兎病
40	19	① 地域保険に関する思想の普及及び向上に関する事項	① 地域 保健 に関する思想の普及及び向上に関する事項
46		図 2.1.1 の中の「化学的要因」の項目中 硫酸 化合物	図 2.1.1 の中の「化学的要因」の項目 硫黄 酸化合物
48	11	精神機能、運動機能、 資格聴覚 、言語等の機能	精神機能、運動機能、 視覚 、聴覚、言語等の機能
51		表 2.1.2 事務室における環境の基準 項目 一酸化炭素の含有率 10ppm 以下(空気調和有)50ppm 以下(空気調和有)	10ppm 以下(空気調和有)50ppm 以下(空気調和 無)
93	27	3 価の化合物の方が 5 価の化合物よりも 素性 が強い。	3 価の化合物の方が 5 価の化合物よりも 毒性 が強い。
113	側注	レイノズル数	レイノルズ数
118	学習のポイント 4 行目	レイノズル数	レイノルズ数
119	11	レイノズル数	レイノルズ数
126	4	…⑤冷水コイル出口 = 空気調和機送風を示す。	…⑤冷水コイル出口、 ⑥ 空気調和機送風を示す。
127	18	④ 乾球温度が…、絶対 温度 が上昇すると、…	④ 乾球温度が…、絶対 湿度 が上昇すると、…
128	17	① 混合方式は、一般の事務所 ように 、	① 混合方式は、一般の事務所 用に 、
128	20	① 一方向流方式は、 清浄空気を、と混合されないように 、	① 一方向流方式は、 清浄空気が混合されないように 、
149	下から 3 行目	……同時に製造することは できない 。	……同時に製造することは できる 。
150	下から 8 行目	圧縮機：低圧ガス 零倍 を圧縮し、……	圧縮機：低圧ガス 冷媒 を圧縮し、……
179	下から 3 行目	6、従って 6DB 減衰する。	6、従って 6dB 減衰する。

● ビル管理士 要点テキストⅡ

頁	行	誤	正
18		図 5.1.12 の図中の「吐水管空間」	「吐水□空間」
21	11	(5) 木製水槽	(4) 木製水槽
67	16	ちゅう房排水は、生物化学的 酸 要求量 (BOD)	ちゅう房排水は、生物化学的 酸素 要求量 (BOD)
118	7	汚泥発生量	流入BOD量
175	下から 2行目	6000kg÷5日=300kg/日 容積質量値は 300kg/日÷6 m ³ =200(kg/m ³)	6000kg÷5日= 1200 kg/日 容積質量値は 1200 kg/日÷6 m ³ =200(kg/m ³)
180		表 6.6.3 の中の「コンパクト・コンテナ方式」	「 コンパクト ・コンテナ方式」
194	17	……毒餌を食べざる 負えない 環境を作ることが重要である。	……毒餌を食べざる を得ない 環境を作ることが重要である。
202	下から 2行目	第2節 害虫の防除に用いる薬剤散布・ 補虫 機器	第2節 害虫の防除に用いる薬剤散布・ 捕虫 機器

● ビル管理士 出題順問題集(解答試案)

頁	問題 番号	解答 番号	誤	正
8	48	(5)	解答番号 (5) 5行目の計算式 従って、室内側表面温度=24-(24-4)×(1/10) ÷(1/20+1/4+1/10)=19.0となる。	解答番号 (4) 従って、室内側表面温度=24-(24-4)× [(1/10)÷(1/4)]= 16 となる。
9	73	(5)	低圧蒸気配管は、0.05MPa以下。	低圧蒸気配管は、 0.01~0.05MPa 。
13	138	(2)	含水率 98%の汚泥 5 m ³ に含まれる水分の割合を求める。 水分の容積=5 m ³ ×98%= 4.99 m³ 同様に、含水率 96%の汚泥 15 m ³ に含まれる水分の割合を求める。 水分の容積=15 m ³ ×96%=14.4 m ³ 混合したときの含水率を求める。 含水率=水分の容量/汚泥量 =(4.99 m ³ +14.4)/(5+15) =0.965=96.5%	含水率 98%の汚泥 5 m ³ に含まれる水分の 容積 を求める。 水分の容積=5 m ³ ×98%= 4.9 m³ 同様に、含水率 96%の汚泥 15 m ³ に含まれる水分の 容積 を求める。 水分の容積=15 m ³ ×96%=14.4 m ³ 混合したときの含水率を求める。 含水率=水分の 容積 /汚泥量 =(4.9 m³ +14.4)/(5+15) =0.965=96.5%
21	43	(4)	発生は、給水範囲と重なることが多く、性別、職業、年齢などとは関係なく発生する。一般に、水で薄められるために潜伏期間が長く、致死率は低く、軽傷例が多い。発生時期は季節等に左右されることは少ない。また、水の汚染が証明又は確定されることは少ない。	水の汚染が証明又は確定されることが 多い 。
22	58	(5)	log臭気濃度	log臭気 物質 濃度
22	65	(1)	……一般に冷房運転と暖房運転を 混在 させることができる。	……一般に冷房運転と暖房運転を 混在する場合に熱回収 運転を行うことができる。
28	162	(5)	家庭から排出される廃棄物の方が、事務所建築物の廃棄物よりも、容積質量値は大きい。	事務所建築物 から排出される廃棄物より、 家庭 の廃棄物の方が、容積質量値は大きい。
36	55	(4)	細菌：0.01 μm⇒ 5.0 μm ， ウイルス：5.0 μm⇒ 0.01 μm ， たばこ煙：10 μm⇒ 2.5 μm 以下、(略) 雨滴(霧雨) 50 μm⇒ 1 mm	細菌：0.01 μm⇒ 1 μm ， ウイルス：5.0 μm⇒ 0.003~0.05 μm ， たばこ煙：10 μm⇒ 0.01~1 μm 以下、(略) 雨滴(霧雨) 50 μm⇒ 0.2~0.5 mm
36	66	(5)	空気熱源方式の方が、水熱源方式より多く使われている。	ヒートポンプ方式 では、水熱源方式よりも、 空気熱源方式 の方が多く使われている。
37	77	(1)	…空調では一般に120~160℃程度で使われる。	…空調では一般に120~ 180 ℃程度で使われる。